

# 都内主要繁華街における 滞留人口モニタリング

東京都医学総合研究所  
社会健康医学研究センター  
西田 淳志

# 都内主要繁華街 滞留人口モニタリング

## <要点>

- 宣言が発令される2週間前から、連日の雨の影響等により、夜間滞留人口はゆるやかに減少（前週比：2.5%減）。昼間滞留人口も、宣言が発令される1週間前から減少に転じている（前週比：4.6%減）。
- さらに宣言発令後の3日間で、夜間滞留人口は6.3%減少（18～20時：8.9%減少、20～22時：5.0%減少、22～24時：2.7%減少）。昼間滞留人口も2.3%減少しており、宣言に対する一定の協力は得られている。ただし、感染拡大を抑えるためにはさらに滞留人口を抑制する必要がある。
- 東京都の実効再生産数はすでに1.2付近まで上昇しており、首都圏3県でも1.1以上となっている。今後のさらなる感染拡大を防ぐためには、都県境をまたぐ移動を減少させることを含め、1都3県で連携して人流を減らしていく必要がある。

# 時間帯別主要繁華街滞留人口の日別推移：東京（2020年10月1日～2021年7月14日）

重点措置6/20-

繁華街  
滞留人口  
(人)

時短要請開始  
(11/28)

緊急事態宣言  
(1/8)

6府県解除  
(2/28)

都解除  
(3/21)

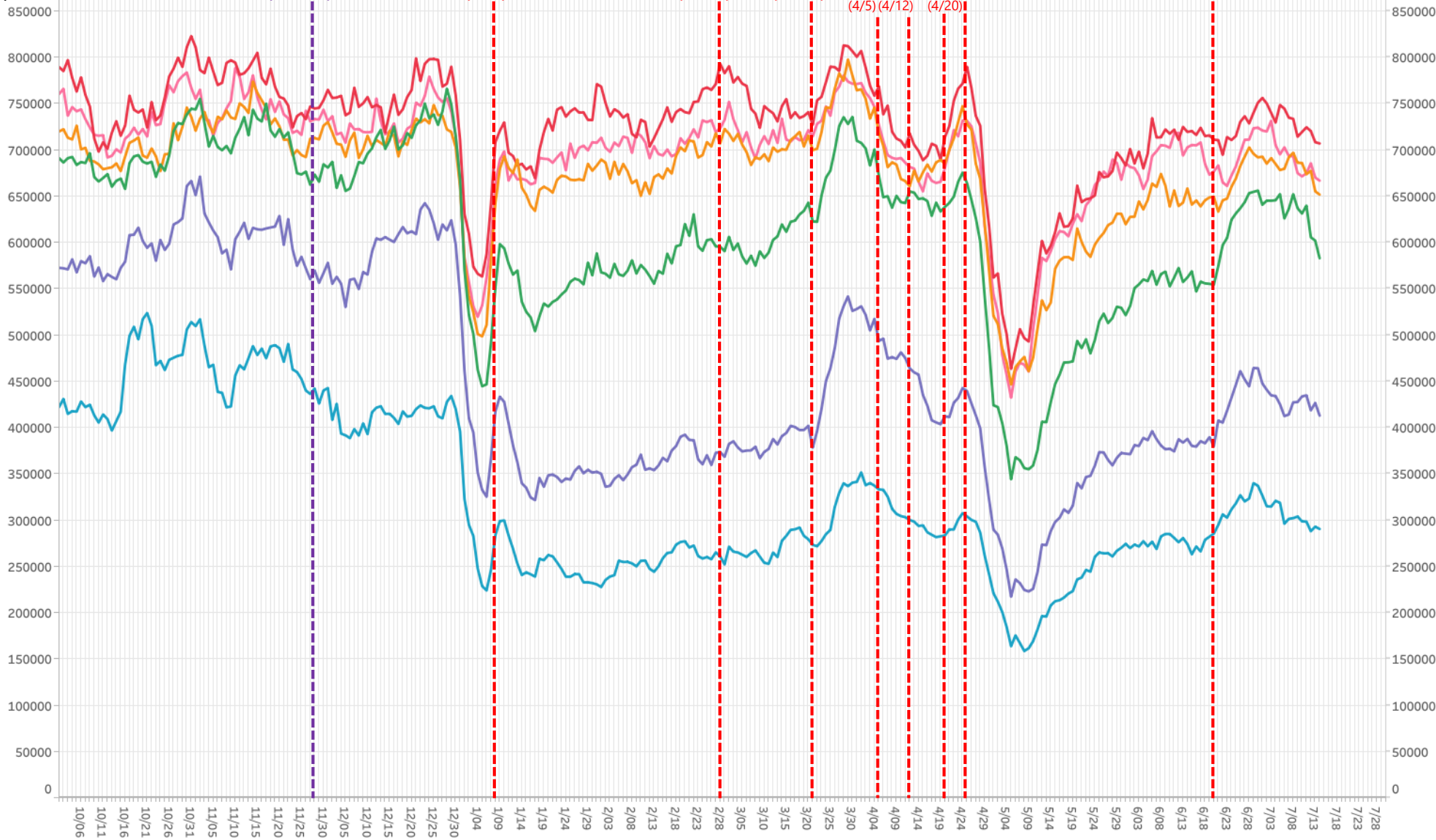
3府県重点措置  
(4/5)

3府県重点措置  
(4/12)

4府県重点措置  
(4/20)

緊急事態宣言  
(4/25)

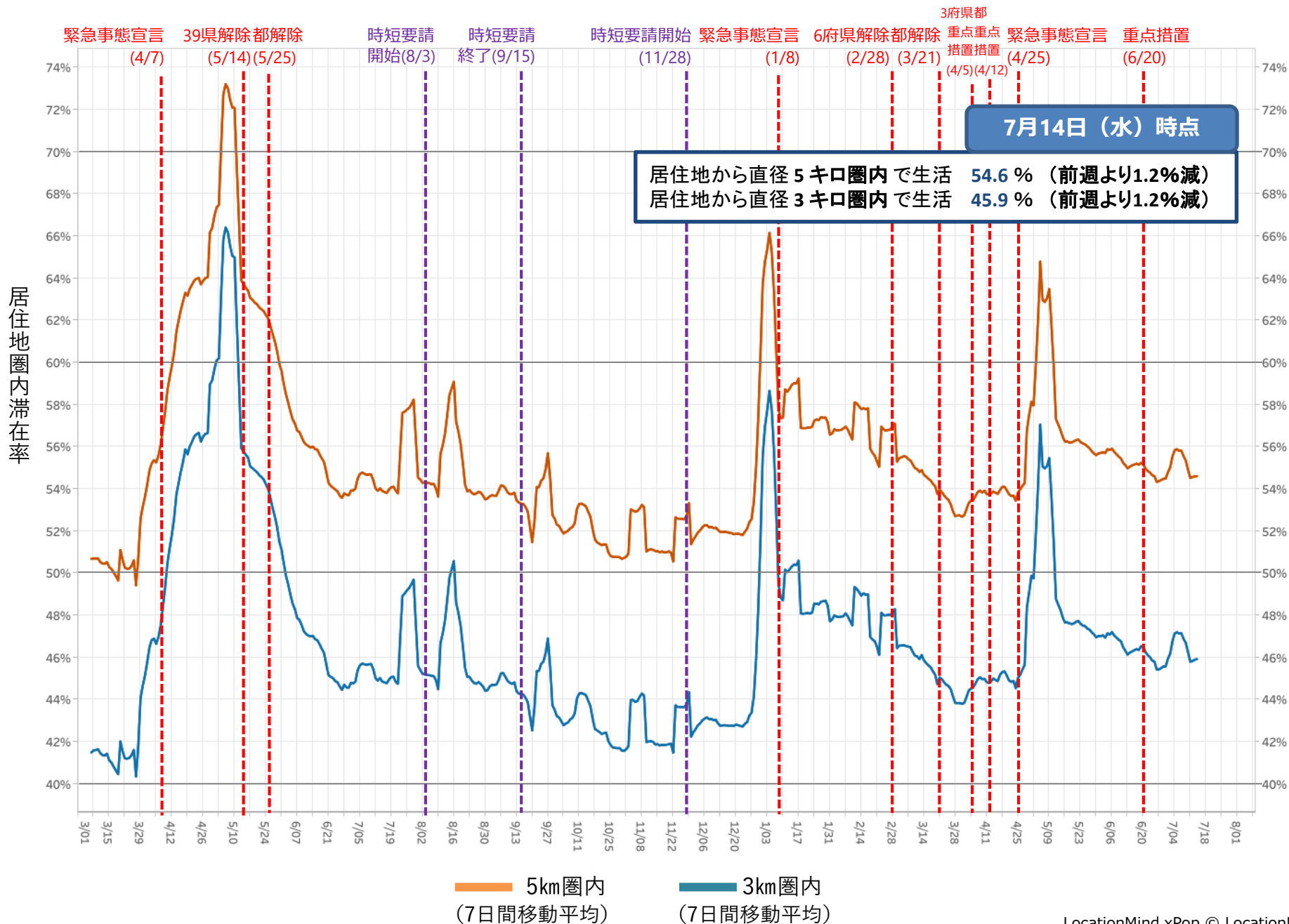
重点措置  
(6/20)



滞留人口12-14時 滞留人口14-16時 滞留人口16-18時 滞留人口18-20時 滞留人口20-22時 滞留人口22-24時

※対象繁華街は歌舞伎町・銀座コリドー街・渋谷センター街・上野仲町通り・新宿二丁目・池袋・六本木

# ステイホーム指標（2020年3月1日～2021年7月14日）：東京都内全域



# 主要繁華街夜間滞留人口の推移と実効再生産数:東京 (2020年3月1日~2021年7月10日)

重点措置6/20-

繁華街 対象繁華街: 上野・銀座・六本木・渋谷  
夜間滞留人口(人) 新宿二丁目・歌舞伎町・池袋

滞留人口22-24時

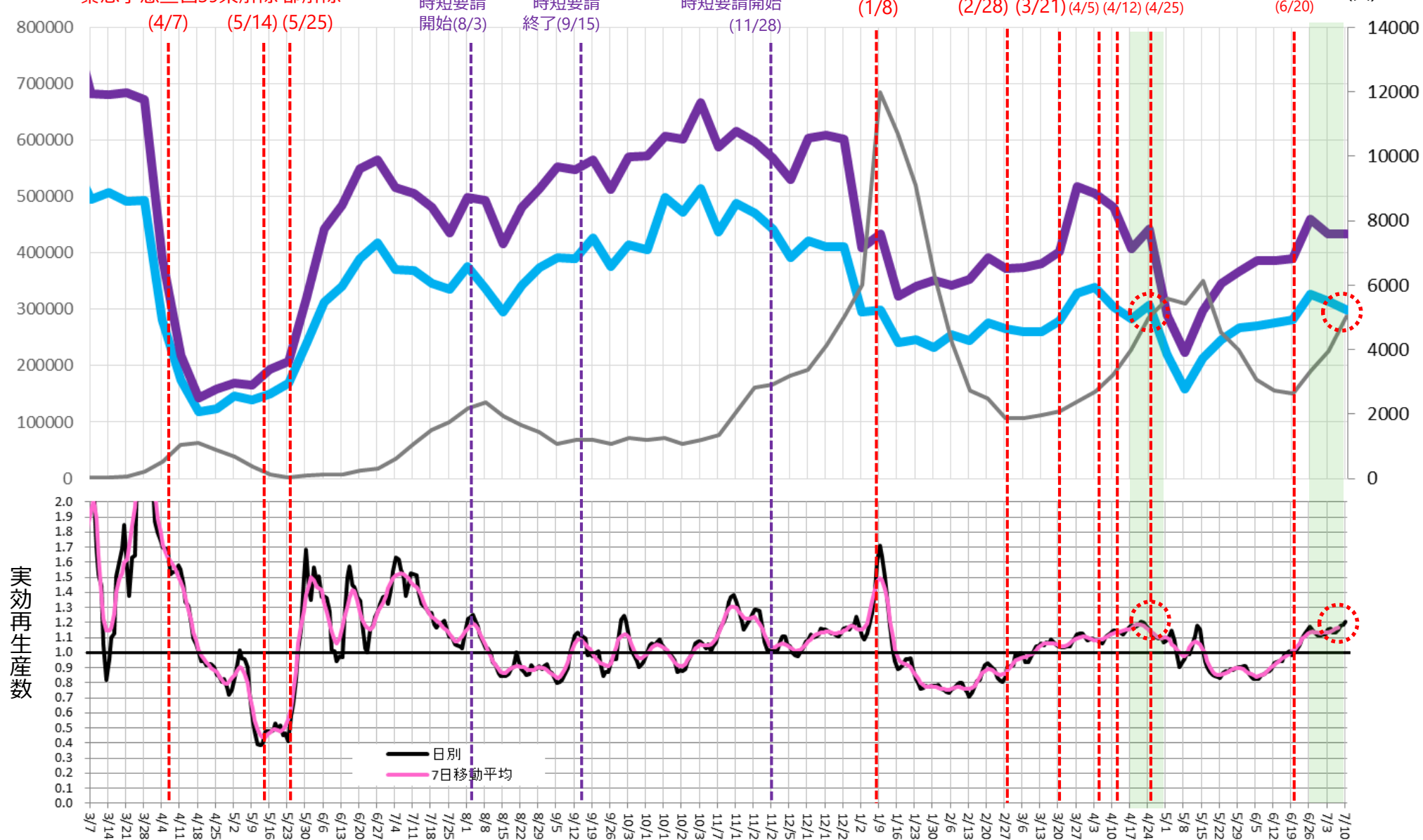
滞留人口20-22時

新規感染者数(報告日)

3府県都

緊急

週あたり  
感染者数  
(人)



# 主要繁華街夜間滞留人口の推移と実効再生産数:神奈川 (2020年3月1日~2021年7月10日)

重点措置4/20-

対象繁華街: 横浜市 (横浜駅西口・桜木町・関内  
伊勢佐木町・元町・中華街・天王町・上大岡・新杉田)  
川崎駅・大和・本厚木

滞留人口22-24時

滞留人口20-22時

新規感染者数 (報告日)

繁華街  
夜間滞留  
人口 (人)

緊急事態宣言 39県解除 県解除  
(4/7) (5/14) (5/25)

時短要請  
横浜川崎  
(12/7)

緊急事態  
宣言  
(1/8)

6府県  
解除  
(2/28)

県  
解除  
(3/21)

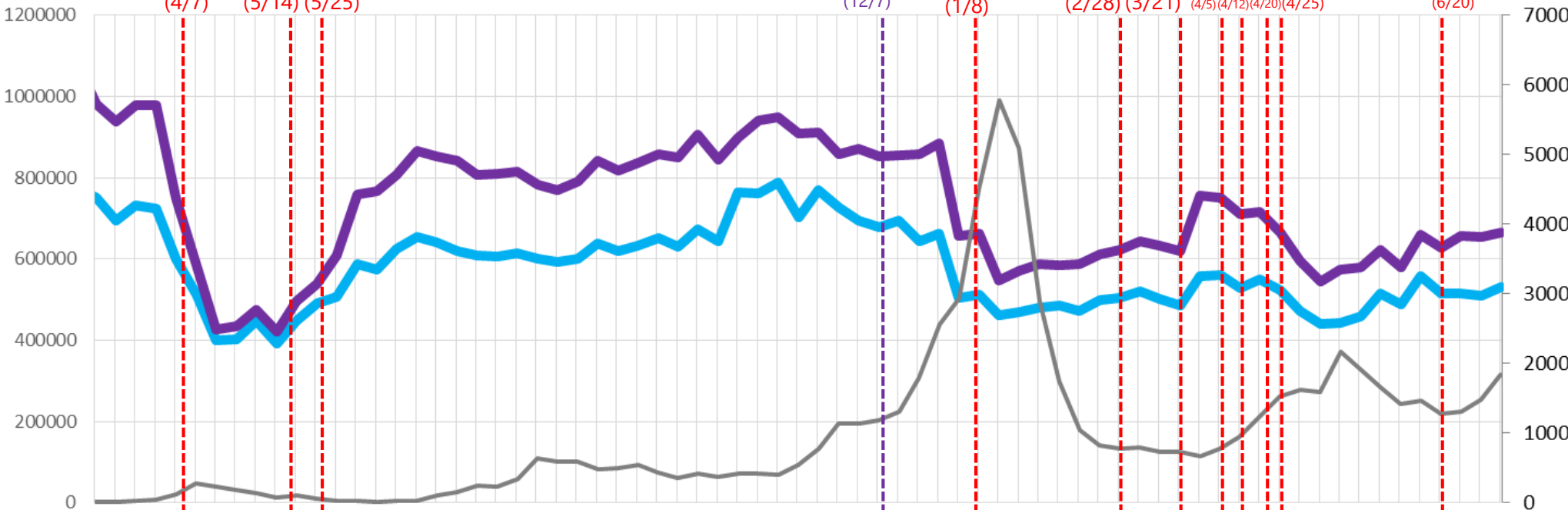
3府県都  
重点重点  
措置措置  
(4/5) (4/12)

4県  
重点  
措置  
(4/20)

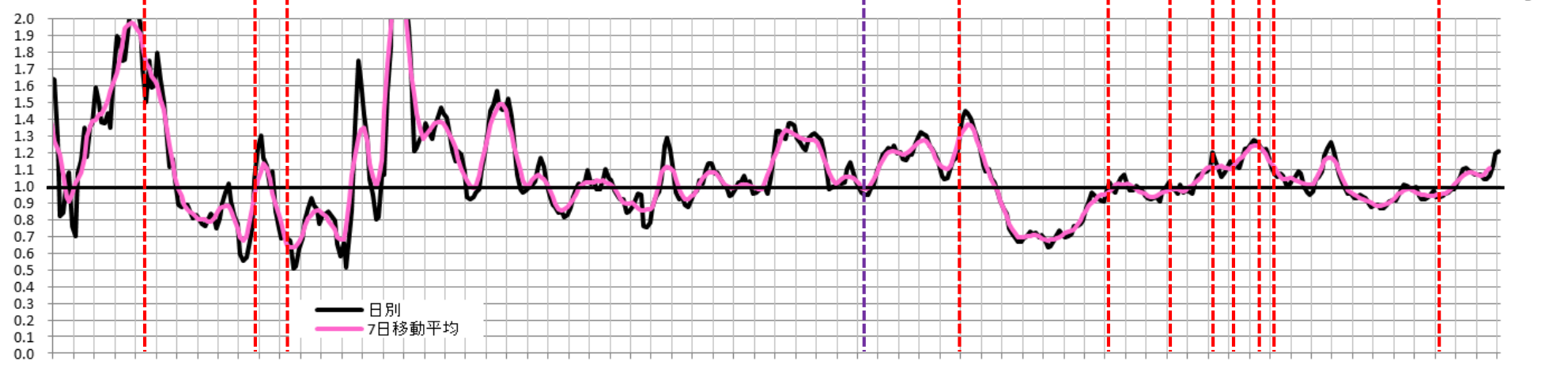
都緊急事態  
宣言  
(4/25)

都  
宣言  
解除  
(6/20)

週あたり  
感染者数  
(人)

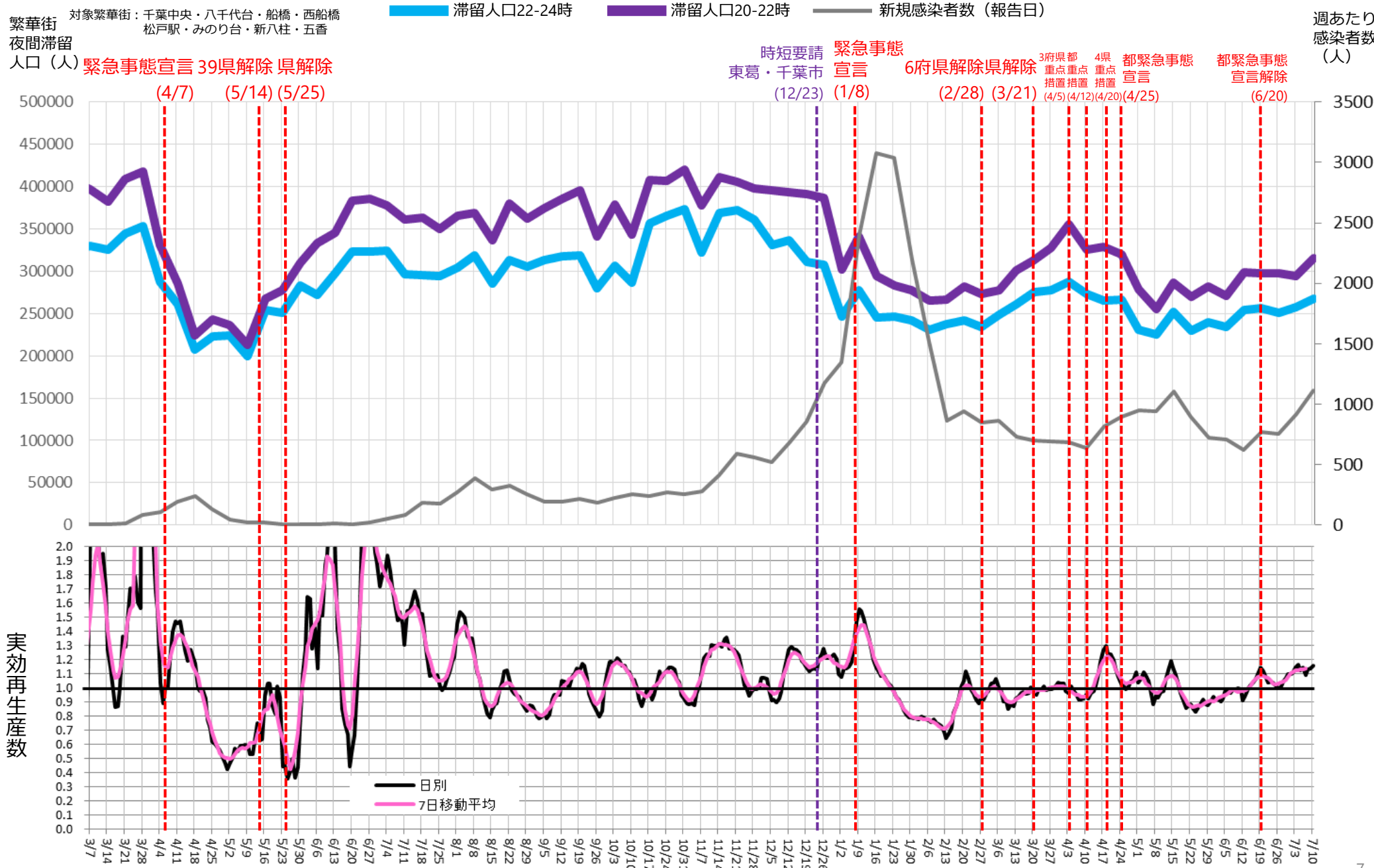


実効再生産数



# 主要繁華街夜間滞留人口の推移と実効再生産数:千葉 (2020年3月1日~2021年7月10日)

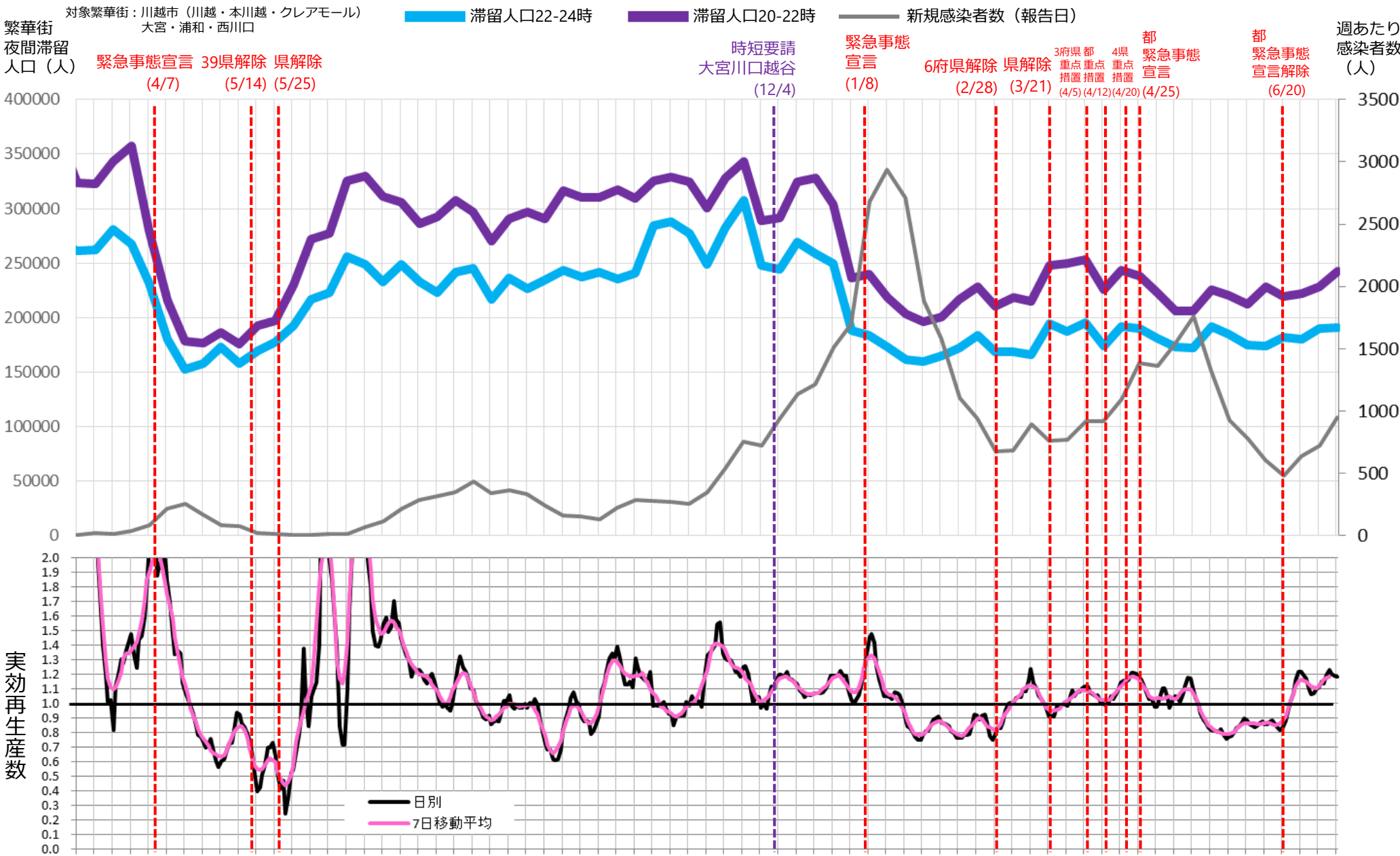
重点措置4/20-





# 主要繁華街夜間滞留人口の推移と実効再生産数:埼玉 (2020年3月1日~2021年7月10日)

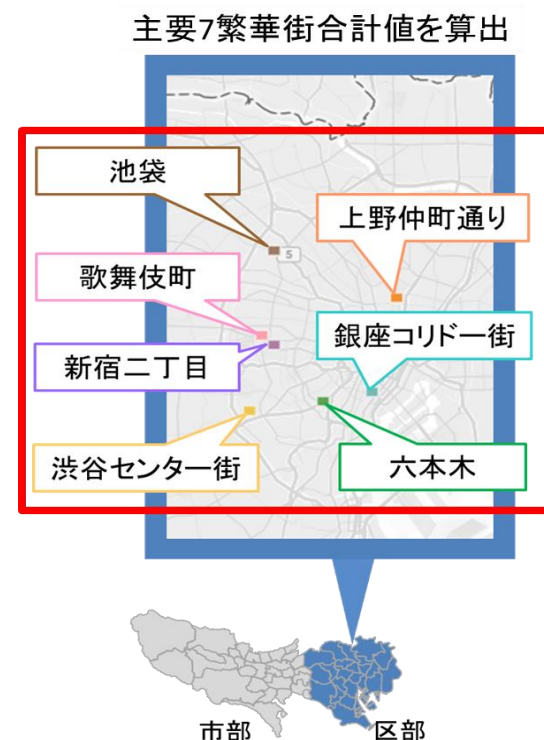
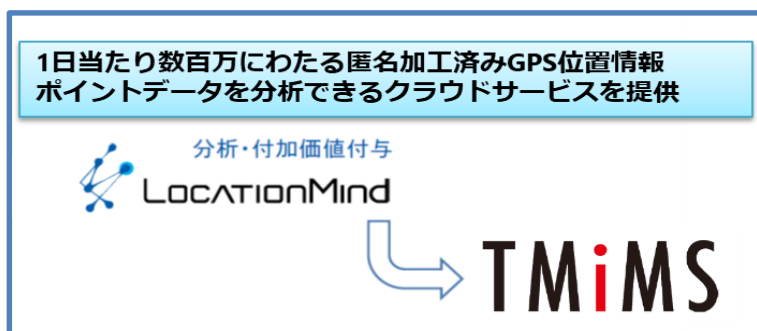
重点措置4/20-





# ハイリスクな人流・滞留を正確にとらえる

- GPSの移動パターンから**レジャー目的の人流・滞留を推定** ※
- **主要繁華街**にレジャー目的で移動・滞留したデータを抽出
- ハイリスクな時間帯の人口滞留量を  
1時間単位で推定(500mメッシュ単位)
- **LocationMind ⇒ 都医学研 ⇒ 東京iCDC**



※GPS移動パターンから職場と自宅の場所を推定した後、  
職場・自宅以外の15分以上の滞留をレジャー目的としてカウント

※レジャー目的の滞留人口をより正確に把握するために2021年7月より繁華街滞留人口の推定方法を改良している。

LocationMind xPopのデータは、NTTドコモが提供するアプリケーションサービス「ドコモ地図ナビ」のオートGPS機能利用者より、許諾を得た上で送信される携帯電話の位置情報を、NTTドコモが総体的かつ統計的に加工を行ったデータを使用。位置情報は最短5分ごとに測位されるGPSデータ(緯度経度情報)であり、個人を特定する情報は含まれない。